

Take off

飛び立とう 幸せな未来へ

猿投中学校 進路通信 第9号

令和3年12月23日(木)

文責 寺田

離陸に不可欠なもの

今から10年くらい前に担任した生徒が全日空（ANA）に就職しました。中学生のころは具体的な将来の夢がなく、家から近くて自転車で通える高校を選んで進学しました。高校生のときに見たドラマがきっかけで飛行機に興味をもち始め、航空業界に就職したいと考えるようになり、大学生になってからも一生懸命勉強に励みました。その強い思いが叶い、希望通り中部国際空港の中に自分の居場所を手に入れることができました。「飛行機が好き」という熱い思いと実行力によって夢を実現させました。

「飛行機は向かい風がなければ離陸できない」これはその卒業生が私に教えてくれたことばです。私は追い風が必要なのだと思っていましたが、飛行機は向かい風を利用して飛び立つのだそうです。このことがずっと心に残っていて、進路通信のタイトルを Take off に決め、いつかみんなにこの話をしようと思っていました。今がちょうどそのタイミングです。

みんなが中学校を卒業した先に進む道に向かって、そろそろ Take off（離陸）の準備をしなければなりません。この冬休みはまさに離陸する方向（志望校）を定め、離陸のために必要な燃料（学力）を搭載し、機体のコンディション（体調）を整える大切な時期です。たとえ向かい風が吹いてうまくいかないように感じたとしても、それに動じたり、めげたりするのではなく、自分が目指す方向へ迷わず突き進んでください。多少のことには動じない強さを身に付けておけば、入試という壁だけでなく、この先の人生で困難なことに会ったときにも立ち向かえる人になれるはずです。

ちなみに前回の学診で take off が「くつを脱ぐ」の意味で英作文の問題に出題されました。「（飛行機などが）離陸する」「（幅跳びなどで）踏み切る」「（衣類・靴などを）脱ぐ、（めがねなどを）はずす」「（ある期間を）休暇としてとる」などの意味がある take off ですが、共通するイメージは「全体から一部を取り去る、はがして移動させる」ということです。対義語はそれぞれ異なり、「着陸する」は land on、「くつをはく」は put on です。

私立高校（ネット出願）について

ネットでの登録が必要な私立高校を受験する人は、この冬休みの間に受験料の支払いを完了してください。（ただし高専を受験する人は結果を見てから受験料の支払いをしてください。）

そのうち、中京大中京高校、名古屋大谷高校、愛工大名電高校を受験する人は、入金が完了するとマイページから【入学願書・受験票】が印刷可能になります。A4の用紙に印刷して願書と受験票をハサミで切り離し、願書を1月7日（金）に担任の先生に提出してください。

それ以外の私立高校については、願書を提出する必要はありません。受験票は推薦1月22日（土）、一般1月29日（土）の午前8時から印刷が可能になります。印刷した受験票を入試に持参します。